

磨き合う緑陽

～「もっとよい自分」づくりを基盤として～

日曜	日課 部活 下校	学 年	1日の流れ(生徒の活動)						校 内 関 係 各 種 行 事	備 考	
			校 時								
			1	2	3	4	5	6	放課後		
11 月	特50 × 14:00	1					/	/	/	第一次選抜追検査 1・2年三者懇談①(個票配付) マイエプロン開始(1・2年) 朝)生徒指導の話 ふれあいカット 時間割変更有	給食 12:35～13:10 片付け 13:10～13:15 清掃 13:15～13:25 帰りの会 13:35～13:50 最終下校 14:00 三者懇談 14:15～
		2					/	/	/		片付け 13:10～13:15 清掃 13:15～13:25 帰りの会 13:35～13:50 最終下校(部活なし)14:00
		3	/	/	/	/	/	/	/	/	ふれあいカット 時間割変更有
12 火	特50 ○ 14:00 15:30	1					/	/	/	1・2年三者懇談②	片付け 13:10～13:15 清掃 13:15～13:25 帰りの会 13:35～13:50 最終下校(部活なし)14:00
		2					/	/	/		部活 14:00～15:15 最終下校(部活あり)15:30
		3	/	/	/	/	/	/	/	ふれあいカット 時間割変更有	
13 水	特50 × 14:00	1					/	/	/	1・2年三者懇談③	給食 12:35～13:10 片付け 13:10～13:15 清掃 13:15～13:25 帰りの会 13:35～13:50 最終下校 14:00 三者懇談 14:15～
		2					/	/	/		片付け 13:10～13:15 清掃 13:15～13:25 帰りの会 13:35～13:50 最終下校(部活なし)14:00
		3	/	/	/	/	/	/	/	ふれあいカット 時間割変更有	部活 14:00～15:15 最終下校(部活あり)15:30
14 木	特50 ○ 14:00 15:30	1					/	/	/	第一次選抜合格発表 1・2年生三者懇談④	片付け 13:10～13:15 清掃 13:15～13:25 帰りの会 13:35～13:50 最終下校(部活なし)14:00
		2					/	/	/		部活 14:00～15:15 最終下校(部活あり)15:30
		3	/	/	/	/	/	/	/	ふれあいカット 時間割変更有	
15 金	50 ○ 15:30 16:30	1		道				/	/	第二次選抜出願期日 道:君をほめるよ	⑤時 13:35～14:25 清掃 14:35～14:45 帰りの会 14:55～15:15 最終下校(部活なし)15:30
		2			道		金5	金4	/		部活 15:25～16:15 最終下校(部活あり)16:30
		3	/	/	/	/	/	/	/	エプロン・割りばし・掲示物など回収完了(1・2年)	
16 土		1									
17 日		1								家庭の日	
		2									
		3									
18 月	50 × 14:50 15:40	1					清掃	/	/	⑤大清掃・ワックスがけ 給食・ふれあい→帰りの会→⑤	帰りの会 13:40～14:00 教室清掃 14:10～14:20 清掃 14:25～14:45 最終下校(ワックスなし)14:50
		2					清掃	/	/		ワックスがけ 14:55～15:25 最終下校(ワックス)15:40
		3	/	/	/	/	/	/	/		

梅村亮介のちょっと真剣な話～「卒業するみんなへ贈る言葉」～

「週報が毎週の楽しみです！」というセリフを幸せに感じる梅村です。だから、卒業生にとってラスト週報となる今週号をどうもいい話にするかちょっと真剣な話にするので悩みました。でも、伝えたい思いを書いて卒業生への贈る言葉とします。(今回は、3年生向けとなります)

卒業生のみんなは今、義務教育を終えようとしています。義務教育というのは、枠が決められた中での活動です。その枠から自立していく先は人それぞれです。決められた道ではなく、自分で進む道を決める。この決断するために、この一年間、3年生のみんなはどれほど悩んできたことでしょうか。そして、選んだ道に向かってそれぞれが歩み出す、それが中学校からの卒業です。

これから一人一人が自分の道を歩んでいきます。そんなみんなが歩んでいく今の時代は予測困難な時代だといわれています。また、情報化が進む中で一人一台のタブレットが配付されたり、受験の出願がwebになったりするなど、予測することはできたとしても実際に変化すると対応に苦戦していくこともある時代でもあります。もともと時代は変化していくものですが、その変化が緩やかではなく急速になっているのです。しかし、どんな時代になっても変わらず大切にしてほしいと先生が思っていることがあります。それが「楽しむ」と「有難う」です。

一つ目に大切にしてほしいのは、「楽しい」ではなく、「楽しむ」です。以前にも週報で書きましたがテーマパークや観光地など世の中には多くの「楽しい」が準備された場所があります。この先に進んでいく中に必ずしも楽しいが準備されていない場もあります。だから、「楽しむ」です。「自分が楽しむ」という気持ちで挑むことで世の中の多くのことを自分にとって「楽しい」に変えていくこともできます。授業においても「分からないことが分かるようになる楽しさ」や「真剣に清掃に挑み、達成感を味わう」などです。このように、自分が動き出すからこそ「楽しむ」ことがたくさんあることを知り、この先へと進んでください。

二つ目は、「有難う」です。先ほどの「楽しむ」が「自分」に対して、「有難う」は他者と関わる言葉です。進路を選択する際にも、その道を進んでいくにしても、そして今日まで歩んできた道のりでも、必ず誰かがあなたを支えてくれています。そんな自分に関わってくれている人への感謝の思いが「有難う」なのです。自分を支えてくれることは当たり前ではなく、あり得がたいことだから「有難う」なのです。